

■ 資料編 ■

浜見平地区まちづくり協議会委員名簿

平成 22 年 8 月 12 日現在

	氏 名	役 職
1	武田 市太郎	浜見平団地自治会会長
2	重岡 健司	浜見平団地自治会副会長
3	松原 隆	浜見平団地自治会事務局長
4	木村 はな子	浜見平団地理事
5	櫛間 幸二	浜見平団地理事
6	亀山 計次	南湖地区自治会
7	後藤 金蔵	湘南地区自治会連合会長 ・松尾自治会会長
8	三橋 一成	南湖地区自治会連合会長 ・下町自治会会長
9	間庭 詔一	新南湖自治会会長
10	西之宮 健一	鳥井戸自治会会長
11	藤間 義次	柳島自治会
12	金塚 克己	浜見平商店会代表
13	北林 康三	左富士通り商店会代表
14	卯月 盛夫	早稲田大学教授
15	島田 正文	日本大学教授
16	糸長 浩司	日本大学教授
17	藤沢 直樹	日本大学専任講師
18	藤岡 泰寛	横浜国立大学准教授
19	三上 義則	UR 都市再生機構
20	川崎 泉	UR 都市再生機構
21	山本 貴志	UR 都市再生機構
22	越野 明	茅ヶ崎市（経済部拠点整備課）

事務局	橋口 真澄	経済部拠点整備課
	富士 英俊	経済部拠点整備課
	進藤 倫史	経済部拠点整備課
コンサル タント	山賀 誠一	サンコーコンサルタント(株)
	由川 智之	サンコーコンサルタント(株)

## 協議会の協議内容等

		◆ 議 題 ◆	◇ 協 議 内 容 ◇
第1回	平成 21年 8月 27日 (木)	経緯の説明(平成20年度の検討経緯について)	・平成20年度の協議会内容についての説明を実施。
		まちづくり整備実施計画の策定スケジュール	・各回の協議会で決定できないものは、継続して協議を行う。 ・市とUR都市機構で全体的なスケジュールの整合性をとって進めていく。
		整備計画の検討 松尾川緑道整備計画	・暗渠化(平成21年度整備)については計画を進めていく。 ・浜見平団地内ワークショップ意見を参考とし、整備方針についてURと連携して協議していく。 ・整備方針(上部(緑道化)の照明・緑のデザイン及びせせらぎ等)について議論を行う。
第2回	平成 21年 9月 29日 (火)	整備計画の検討 公園整備計画 環境(緑)整備計画 防災整備計画	・防災公園としての避難想定人口のデータを整理する。 ・公園内のグラウンド機能のあり方について検討をしていく。
第3回	平成 21年 11月 5日 (木)	整備計画の検討 松尾川緑道整備計画	・松尾川上部(緑道化)の整備方針は基本的にABCプランで進める。 ・Cプランで予定しているせせらぎをBプランに延長可能か検討する。
		景観まちづくり審議会への諮問についての報告	・松尾川沿いの高木植栽は、プライバシー等の問題を踏まえ、配置に工夫をする。 ・自転車通行帯設置の提案があったため、検討をしていく。 ・植栽等の維持管理は住民参加を含めた仕組み等、今後検討をする。 ・景観まちづくり審議会で議論になった項目を提示してもらい、本協議会でも検討をしていく。
第4回	平成 21年 12月 14日 (木)	整備計画の検討 道路整備計画 公共公益施設整備計画	<b>【道路整備計画】</b> ・歩道状空地には植栽を設け、環境対策に配慮する。 ・歩道の分けけとして、植栽、自転車通行帯の整備方針を複数案検討する。 ・自転車道の一方通行に関して検討する。  <b>【公共公益施設整備計画】</b> ・公共公益施設の現在の検討施設の提示。建物や駐車場の配置は今後検討し、提示する。
		その他	・市の財政が厳しいため、状況によって整備に優先順位をつけることも考えられる。
第5回	平成 22年 1月 26日 (木)	整備計画の検討 道路整備計画 防災整備計画	<b>【歩道整備方針の確認】</b> ・自転車通行帯は1.0mとする。なお、歩道内の自転車通行帯と歩道を区切る色や線は今後検討する。 ・バスベイ部分の歩道と自転車通行帯の取り方を今後検討する。 ・交差点部分や人や自転車の溜まりを考えて、自転車通行帯を検討する。  <b>【防災整備計画】</b> ・柳島スポーツ公園の設置が決定したことから、防災に関する内容について浜見平地区との機能分担や連携を図りながら整備する。 ・避難場所は常時、復旧時、復興時それぞれの形を考え検討する。

		◆ 議 題 ◆	◇ 協 議 内 容 ◇
第6回	平成22年2月22日(月)	整備計画の検討 公園整備計画	<p>【公園整備計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園1.4haの整備計画だけでなく、団地内の広場にも避難ができるようにし、浜見平地区全体を防災拠点として整備する。</li> <li>グラウンドのあり方については、管理方法も含めて、今後UR都市機構と協議を行いつつ検討する。</li> <li>公園整備計画は今後も防災なども含め協議を行う。</li> </ul>
第7回	平成22年3月30日(月)	整備計画の検討 公園整備計画	<p>【公園整備計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備計画はより具体的に整理を行っていく。</li> <li>津波問題として、堤防の工事等を、市・県・国に要望をしていく。</li> <li>仮設トイレの問題は団地全体で考え、公園だけでなく団地内に点在させる方向で検討する。</li> <li>備蓄倉庫については、市やUR都市機構、自治体それぞれの役割分担を考慮して検討する。</li> </ul>
第8回	平成22年4月26日(月)	公園整備計画	<p>【防災の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の市南西部における想定避難者数を既設の避難所(小・中学校等)、浜見平地区に整備される公園、(仮称)柳島スポーツ公園で確保し、整備していく。なお、避難者は、状況に応じて団地住棟間のスペースに避難してもらうことも考えられる。</li> <li>防災施設に関しては、今後もURと調整をしながら、詳細を検討していく。</li> </ul> <p>【公園整備の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に使用する平坦な土地を確保した中で、公園の配置については今後も検討・修正を行っていく。</li> <li>UR都市機構と協議を行い、今後グラウンドについて代替案を検討していく。</li> </ul>
第9回	平成22年8月12日(木)	公共公益施設計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年フリースペースは、様々な機能をもたせて整備する方向で調整する。</li> <li>公共公益施設用地は、市の負担を軽減するための事業手法を検討していく。</li> <li>建物の配置、駐車場スペースについては、公共公益施設の整備方針(個別施設・複合施設)により異なるので、今後検討していく。</li> <li>診療科目は小児科を中心に考えているが、周辺地域にある医院の科目を考慮し調整していく。</li> <li>グラウンドについては、機能を残す方法でUR都市機構と協議をしている。</li> </ul>



---

## 浜見平地区まちづくり整備実施計画

平成 22 年（2010 年）10 月発行（300 部作成）

発 編	行 集	茅ヶ崎市 経済部拠点整備課 〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号 TEL 0467-82-1111（代表） 内線（2611） FAX 0467-89-2916 ホームページ <a href="http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/">http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/</a> 携帯サイト <a href="http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/">http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/</a>
作成・印刷		サンコーコンサルタント株式会社 〒136-8522 東京都江東区亀戸 1-8-9 TEL 03-3683-7111（代表）

---



